

(第2号様式)

宮総実第3121号
令和8年 3月18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立宮古総合実業高等学校
校長 船越 秀輝
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和7年7月29日 15:00~16:00	会議室	4名中1人欠席
第2回	令和7年12月18日 14:30~16:00	会議室	4名中1人欠席
第3回	令和8年3月17日 15:00~16:00	会議室	全員出席

2 学校評議員に求めた事項

<p>1. 専門教育の高度化とキャリア形成への助言 本校が推進する「農業・福祉、商業、水産・海洋」の各専門教育において、社会変化や時代進展に即した人材育成ができているか、外部の視点から評価・助言</p> <p>2. 地域・家庭・学校の連携強化と情報発信の支援 学校・家庭・地域社会が一体となった生徒の健全育成を推進するため、ネットワークの構築に対する協力 本校の総合的・創造的な教育実践を広く地域に周知するための広報活動へのアドバイス</p> <p>3. 多様な学びと安心・安全な教育環境への提言 生徒一人ひとりが「自分を大切にできる」居場所づくりや、安全な学校運営についての客観的な評価</p>
--

3 学校評議員の意見

<p>1. 学科間連携の具体策について 具体的に宮古島の産業をどうアップデートできる人材を育てるのか？</p> <p>2. 生徒の「居場所」と多様性への対応について 「多様な学びの在り方」や「生徒の居場所づくり」について注視したい</p> <p>3. キャリア教育と「カッコいい大人」像について 単なる進路指導ではなく、生き方そのものを考えさせるプログラムを期待する</p> <p>4. 働き方改革とキャッチフレーズの整合性について 若手からベテランまで意見が言い合える、風通しの良い職場づくりを最優先してほしい</p>
--

4 学校運営に反映した事項

<p>1. 学習指導・教育課程の改善(UD化と連携) ・授業のユニバーサルデザイン(UD)導入(管理者面談にて手立て確認)</p> <p>2. 地域連携・情報発信の強化 ・SNS・ホームページの戦略的更新 ・評議員・地域住民の授業参観のオープン化</p> <p>3. 働きがいのある組織づくり(教職員向け) ・安全点検の徹底と環境整備 ・職員研修のテーマ設定 ・生成AIによる業務のスリム化</p>

5 課題その他

<p>1. 志願者数の維持 2. 中高連携の強化 3. スマート産業への適応 4. 教員のITスキル格差 5. 生徒の多様な悩みへ対応に向けた専門的知識 6. 施設の老朽化と維持費</p>
--